

避難所には不可欠！男女共同参画の視点

地震、水害、山火事：自然災害はいつ起こるかわかりません。十分な準備もできないまま自宅を離れ、不特定多数の人と限られた空間で送る避難所の生活。精神的にも、肉体的にも大変な負担がかかり、衛生面や、プライバシー面の問題も発生します。大災害の発生による生活苦などの様々なストレスは、虐待やDV・性犯罪など他者に対する暴力を誘発することもあります。実際に、平成23年に発生した東日本大震災では、女性や子どもへの暴力が問題となりました。

避難所の運営において、女性へのプライバシーの配慮や、ストレスの軽減のため、更衣室・授乳室の設置や、男女別のトイレの整備をすることなどが考えられます。また、より良い避難所にするためにも、女性はもちろん、子どもや、高齢者など、様々なひとの視点を取り入れながら運営することが必要です。皆が意見を出し合うことで、安心して過ごせる避難所となり、トラブルの抑止力にもなるでしょう。